

須磨多聞線（西須磨工区）ワークショップ 主な意見まとめ

平成27年9月5日(土)参加者22名、10月4日(日)参加者10名（於：須磨区民センター4階大ホール）

周辺地域への影響・周辺地域との関係

子どもたち、地域住民の安全安心対策

- ・工事中も安全対策を徹底して欲しい
- ・通学路の安全（北須磨小、西須磨小）、
- ・通園時の安全（幼稚園児が離宮道東より道を渡って通園するので危険を取り除いて欲しい）
- ・幼稚園の防犯
- ・沿道の家や幼稚園が丸見えにならないように、防音壁も透明でないほうが良い
- ・警察と学校関係で連絡し合う

見通しよい道に、整備・設計の工夫

- ・近隣空地や高架下空間は、死角のない見通しのよい平地にし、子どもがいつでも安心して遊べる空間へ
- ・見通しのよい道に
 - ⇒高木などは不要
 - ⇒側道への飛び出しの危険のない道（例：横断歩道のマークをつけるなど）
 - ⇒交差点をよく考えてつくってほしい

生活環境・夜間などの治安対策

- ・小さい街灯があるだけでは怖い。街灯を明るく
- ・天井川の下のように暗い空間にならないように
- ・防犯カメラの設置希望
- ・人が居る交番も設置してもらいたい

通過交通対策、歩行者の交通安全、人にやさしい街路に

- ・細い住宅路への車の進入が多くなる心配がある
- ・交通安全と通過交通の住宅地進入防止策の検討を
- ・須磨多聞線と地域内の生活道路を分離する方がよい
- ・桜木町2丁目北側の交差点
 - ⇒立体交差にしてもらいたい。東西は生活道なので、南北（須磨多聞線）は高架で続いている方がよい
 - ⇒東西は取り分けできるようにしてほしい
- ・副道の交通規制についても要検討
 - ⇒車両規制や一方通行化などは歩行者メインで、指定車両のみ通行可にしては。ポール設置等
- ・歩行者の安全のため、天理教東の道を広げてはどうか
- ・山陽電鉄を跨ぐ歩道橋や線路沿いの歩道も整備希望

早期解決が必要

- ・現在、道路予定地が空き地のままで物騒なので、早く道路整備してほしい
- ・駐車場が減り、道路上の駐車が増えている
 - ⇒駐車場廃止で困っている人がいる。
 - ⇒着工までの期間、今ある空き地を駐車場として復活
 - ⇒整備後は、高架下や周辺に、コインパーキングや月極駐車場ができるといい（ただし、高架下の副道の交通量が増えるのは困る）



渋滞解消策(特に離宮公園前交差点)

- ・離宮公園横の水路に蓋をして道にして、スムーズに左折できるようにする
- ・渋滞のないような信号サイクルにする
- ・須磨北からの右車線は行く方向が複数あるので渋滞している
- ・千森線へ行く道も、きちんと処理が必要
- ・離宮道の中央線を黄色線にしてはどうか
- ・離宮前交差点をうまく処理しないと渋滞は解決しない
- ・地下を掘って南北にバイパス道路を通す

まちの魅力を高める(提案)

- ・地域の魅力を高め発信していきたい
- ・周辺文化施設等を活かし子育て世帯や老人に人気のまちに（商店の活性化にも）
- ・須磨多聞線の建設を前提としない遊歩道整備（遠足につかえるような場所に）
- ・“西須磨総合公園”として海を眺めることができる場所に
- ・車道もコンクリートの高架もやめる。花の道にする

公園や道路ができることによる心配・不安

- ・道が広がると安全ではなくなるのではないかと
- ・人通りが増える、通過交通も増える
 - ⇒幼稚園の園庭や園内、沿道の家も丸見えになる
- ・公園に若者が集まってタムロしたりする心配
- ・高架下は暗く、死角ができるのではないかと
- ・防音壁、騒音対策をしっかりと欲しい（特に高架道路のつなぎ目）
- ・高架からの排気ガス対策
- ・タイヤ等の粉塵（高架下で子どもが遊ぶことに疑問）
- ・現在の桜木町市民公園周辺は立派な木が多く森のようになっている。木の移植、森の復元はできるのか
- ・離宮道が抜け道になるのではないかと（月見山本町2から通り抜けにくい、国道2号に抜けるには離宮道を使うのでは）

まちの課題

- ・千森線から上がってくる車の排気ガスや騒音
- ・離宮道
 - ⇒歩道の宅地側の段差が危ない
 - ⇒交通事故が多い(離宮道上の2カ所)
 - ⇒松並木で見通しが悪く、横断しにくい

高架下や沿道の緑化、公園的整備

こんな空間が欲しい・利用イメージ

- ・公園的な整備（例：トレーニング、バスケット、スケボー、ウォーキング、音楽の練習場など）
- ・子どもが遊べる公園的整備（せせらぎなど水遊び場、フェンスが高くボール遊びができるグラウンド）
- ・子どもからお年寄りが憩える・利用できる
 - ⇒世代交流ができる公園的整備
 - ⇒利用者を分ける公園的整備（例：お年寄り、子ども、ペットなど用途・ゾーンを区切る）

整備・設計の工夫

- ・安全面の配慮
 - ⇒幼稚園や学童保育所の立地に十分配慮する
 - ⇒芝生やクッション性のある舗装
 - ⇒バリアフリー
 - ⇒見通しよく
- ・木々と花が中心の緑地づくり
- ・トイレもあるといい

維持管理

- ・メンテナンスをきちんと行うこと、しっかりと管理する必要がある
- ・花壇など地元管理は困難。市で管理できる整備にしてほしい
- ・地域に管理者がいる方がよい

その他、高架下や沿道の土地利用

- ・風紀に合わないものはやめてほしい
- ・ゆとりのある空間を残して欲しい
- ・集会所、児童館、駐車場、駐輪場、ゴミステーション、幼稚園の送迎車等の待機スペースがあるといい
- ・幼稚園の通りは車、自転車が多い。子どもたちのために心配のない空間を
- ・食品スーパー等お店ができれば嬉しい
- ・マンション、民間住宅は建たないようにしてほしい
- ・地域の声を聴いて必要な施設を検討して欲しい
- ・幼稚園への優先的売却も検討してはどうか
- ・売却する場合でも必ず公募要件をつけてほしい
- ・桜木町の空地は売らないが天神町の空地は売るとなると地元で軋轢が起こる

その他

- ・当初の反対理由は排気ガスや騒音の懸念からだったが、今は車の性能がよくなっている
- ・離宮道の交通量が減ったとしても一方通行化はやめてほしい